

「東日本大震災で得られた事 復興に向けての課題と提言」



平成 25 年 10 月 3 日 (木)
14:00～15:30 (開場)13:30

地域情報センター3階 第1研修室
(浜松市中区中央一丁目 12 番 7 号)

大災害をもたらした「東日本大震災」で、がれきの撤去、復旧工事など、社会インフラ等の早期復旧作業にあたった一般社団法人仙台建設業協会副会長の深松努氏をお招きし、その悲惨な被災状況や過酷な活動状況などをご講演いただきます。

講師プロフィール



深松 努 (ふかまつ つとむ)

一般社団法人仙台建設業協会 副会長
株式会社深松組 代表取締役社長
昭和 40 年生まれ。富山県出身。

東日本大震災において、津波などで 900 人以上の尊い命が失われた仙台市で、震災発生当初から警察や自衛隊とともに、遺体捜索ならびに、がれき処理の作業責任者として現場で指揮をとる。

「東日本大震災で得られた事 復興に向けての課題と提言」

会場位置図

●会場 地域情報センター 3階 第1研修室
(浜松市中区中央一丁目12番7号)

●会場までのアクセス方法

- 徒歩 (浜松駅から)
徒歩10分
- バス (浜松駅バスターミナルから)
11番のりば 早出線「県総合庁舎」下車、徒歩1分
くるる西ループ「県総合庁舎」下車
くるる東ループ「県総合庁舎北」下車、徒歩3分
- 電車 (浜松駅西側 遠州鉄道西鹿島線 新浜松駅から)
「新浜松駅」～「遠州病院前」下車、徒歩2分

県西部危機管理局と
浜松市は3日、同市中
区の市地域情報センタ
ーで講演会を開き、仙
台建設業協会の深松努

副会長が「東日本大震
災で得られた事」復興
に向けての課題と提
言をテーマに話した。
国や県、市の職員や、
建設業関係者ら約10
0人が参加し、震災直

深松さん(仙台建設業
協会副会長)講演

自主防の重要性強調



東日本大震災から得た教訓について話す深松さん
|| 浜松市中区の市地域情報センター

大況によっ
通機関のご



後の復旧作業のノウハ
ウや教訓を学んだ。
深松さんは道路が通
行不可能となり、重機
を動かそうにも燃料不
足に悩まされたこと
や、遺体や財産が交じ
る市街地のがれき撤去
が思うように進められ
なかったことなど、震
災直後の仙台市で現場
指揮をとった際の経験
談などを紹介した。
最後に深松さんは
「全ての地域がすぐに
救出されるわけではな
い。必ず取り残される
地域はある」と自主防
災の重要性を強調し
た。